

安全データシート (SDS)

改訂日 2024年8月5日

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	スタイロ TM スプレーライト TM イソシアネート
会社名	デュポン・スタイロ株式会社
住所	〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町11-1
電話番号	0289-76-2555
ファックス番号	0289-76-1592
緊急連絡電話番号	0120-113-210
推奨用途および使用上の制限	現場吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材の原料

2. 危険有害性の要約

(下記の危険性有害性は、分類対象外、分類できない、区分外は記載していません。)

GHS分類	急性毒性 (吸入)	区分4	【単回】区分3 (気道刺激性)
	皮膚腐食性/刺激性	区分2	
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2	
	呼吸器感作性	区分1	
	皮膚感作性	区分1	
	標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	区分3	

GHSラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語

危険

危険有害性情報

吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/呼吸用保護具を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
内容物/容器を認可された廃棄物処理場に廃棄すること。

他の危険性

呼吸器の過敏症(喘息や慢性の気管支炎など)がある作業員は、本製品の取扱いを避けること。
本製品に過剰にばく露された場合、呼吸器の症状は数時間後に現れる事がある。
呼吸器系症状の主要なリスク因子として、粉じん、蒸気、エアロゾルへのばく露が挙げられる。

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名 ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート (ポリメリックMDI)

化学名	CAS No.	化管法指定化学物質の種別	化審法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲
ポリメチレンポリフェニル ポリイソシアネート	9016-87-9	-	(7)- 872	100% [43%]
メチレンビス(4, 1-フェニレン) =ジイソシアネート	101-6-8	第一種 (1-448) 労*	(4)- 118	

労：通知対象物（労働安全衛生法第57条の第1項における政令で定めるもの）

安全データシート (SDS)

4. 応急措置

共通事項	汚れたり、濡れた衣類や靴は直ちに脱ぎ、汚染除去して廃棄する。
眼に入った場合	直ちに清浄な水（できればぬるま湯）で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	皮膚に接触した時は、ポリエチレングリコールベースの洗剤、又は石鹼と多量の水で十分に洗浄する。皮膚刺激や発疹が生じた場合は、医師の診察を受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移動し、保温して休息を取らせる。もし呼吸が困難な場合は、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに水で口の中を洗う。無理に吐かせない。速やかに医師の治療を受ける。
最も重要な急性および遅発性の症状および徴候	医師に伝える情報：本製品は気道を刺激し、皮膚および呼吸器感作症状を引き起こす事がある。初期症状として急性刺激や気管支狭窄の症状が現れる。ばく露時間の長さや症状の程度によっては、更なる加療が必要となる可能性がある。
緊急の医学的措置および特別の治療が必要な徴候	治療手段：情報無し。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	二酸化炭素 (CO ₂)、泡消火剤、粉末消火剤、大規模な火災の場合は大量の噴霧水。
使ってはならない消火剤	棒状水
火災時の特有の危険有害性	<p>燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、イソシアネートおよび微量のシアン化水素が放出される。火災や爆発の場合は、発生する有毒ガスや蒸気を吸い込まない。</p> <p>近隣の火災により、圧力上昇と破裂の危険性がある。火災の危険のある容器類は水で冷却し、もし可能なら遠ざけること。</p>
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	<p>消火作業中は、防毒マスクと密閉の防火服が必要。</p> <p>汚染した消火水は土壌、地下水や一般排水路等流れないようにする。</p>

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	適切な保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」を参照）。漏出した場所の換気を良くする。関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	水路、排水溝あるいは土壌に流出させない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	<p>物理的に除去する。残りを湿った吸着材（例：おがくず、カルシウム・シリケート水和物を原料とする化学結合剤、砂）で覆う。約一時間後廃棄物容器に移す。密閉しないこと（CO₂が発生する）。湿った状態で、換気のよい安全な場所に数日間保管する。</p> <p>漏出区域は次の推奨除染液によって浄化することができる。</p> <p>除染液 1：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤 = 90 - 92% / 8 - 10% / 2%</p> <p>除染液 2：液体石鹼（15%以下のアニオン性界面活性剤を含むカリウム石鹼）／水／ポリエチレングリコール(PEG400) = 20 ml / 700 ml / 350 ml</p>

廃棄方法は「1 3. 廃棄上の注意」を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法の関係法規に準拠して作業する。	
安全な取扱い注意事項	<p>作業室の換気や排気を十分に行う。</p> <p>高濃度のイソシアネート蒸気や微粒子が発生する可能性のある作業（例：圧力開放時、型のガス抜き、ミキシングヘッドのエアブロー）が行われる場所では、管理濃度を超えることのないように適切な局所排気を行うこと。作業中は局所排気や全体換気を行う。排気・換気装置は定期的にチェックする。第 8 章記載の管理濃度を監視しなければならない。</p> <p>第 8 章記載の人体保護対策を遵守しなければならない。あらゆる状況において、蒸気が皮膚と目に触れることや蒸気を吸い込むことは避けなければならない。</p> <p>飲食物、タバコから離して保管し、取り扱う。休憩前と終業時には手を洗い、皮膚を保護する軟膏を塗る。作業服は普段の服と分けて保管する。直ちに汚染されたすべての衣服を脱ぐ。汚染された防護衣は普段の衣服と分けて洗濯するか、処分する。</p> <p>「1 3. 廃棄上の注意」を参照。</p>
保管条件及び混触禁止物質 特定用途	<p>容器を密閉し、乾燥した状態で保管する。品質上の保管条件については、製品情報を参照すること。</p> <p>情報無し。</p>

安全データシート (SDS)

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

許容濃度・OELs

化学物質	CAS番号	出典	タイプ	許容濃度	上限限界値
ジフェニルメタン-4,4'-ジイソシアネート	101-68-8	日本産業衛生学会	TWA	0.05 mg/m ³	

この製品にはごく微量のフェニルイソシアネートが含まれている場合がある。

曝露防止

呼吸器用保護具： 換気が十分でない区域及びスプレー中は呼吸器の保護が必要である。例：JIS T 8152 に適合する防毒マスク、JIS T 8153 に適合する送気マスク。エア供給マスク、又は短時間の作業の場合は、活性炭フィルターと微粒子除去フィルターの組み合わせが推奨される。例：JIS T 8153 に適合する送気マスク、JIS T 8152 (EN529) に適合する防毒マスク。

手の保護具： 適切な防護手袋を着用すること。例：JIS T 8116 に適合する化学防護手袋
 ポリクロロブレン - CR: 厚さ >=0,5 mm; 破過時間 >=480 min
 ニトリルゴム - NBR: 厚さ >=0,35 mm; 破過時間 >=480 min
 ブチルゴム - IIR: 厚さ >=0,5 mm; 破過時間 >=480 min
 フッ素化ゴム - FKM: 厚さ >=0,4 mm; 破過時間 >=480 min
 推奨： 汚染した手袋は処分する。

眼の保護具： 眼/顔面用保護具を着用すること。例：JIS T 8147に適合する保護めがね。

皮膚及び身体の保護具： 適切な保護衣を着用すること。例：JIS T 8115に適合する化学防護服、JIS T 8117に適合する化学防護長靴
 成形直後のポリウレタン製品の安全取扱いについては、「1 6. その他の情報」を参照すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体 at 20°C at 1,013 hPa	
臭い：	土臭い	
色：	黒褐色	
臭いの閾値：	情報なし	
pH：	情報なし	
流動点：	-24°C	ISO (国際標準化機構) 3016
沸点/沸点範囲：	>300°C at 1,013 hPa	DIN (ドイツ工業規格) 53171
引火点 (°C)：	226°C at 1,013 hPa	ISO (国際標準化機構) 2719
蒸発速度：	情報なし	
可燃性 (固体、液体)：	非該当	
燃烧熱量 (kJ/mol)：	非該当	
燃烧または爆発範囲の上限/下限：	情報なし	
蒸気圧 (Pa)：	ジフェニルメタンジイソシアネート, (MDI) < 0,00001 hPa (20°C) < 0,0005 hPa (50°C) 蒸気圧の非常に低い製品においては、製造、保管、または輸送の条件により、見掛けの蒸気圧が純正品の蒸気圧を超える可能性があります。例：窒素や二酸化炭素などの溶解ガスによる影響： 6 hPa at 20°C EG A4 12 hPa at 50°C EG A4 13 hPa at 55°C EG A4	
相対ガス密度：	情報なし	
密度：	約1.238 g/m ³ at 20°C	DIN (ドイツ工業規格) 51757
溶解度：	非水溶性 at 15°C	
表面張力：	情報なし	
粘度 (mPa·s)：	約180 (25°C)	
n-オクタノール/水分係数：	情報なし	
燃烧・発火点 (°C)：	>500°C	DIN 51794
自然発火温度：	非該当	
分解温度：	約260°C	
粘度 (粘性率)：	287.1 mPa·s at 20°C	DIN 53019
動粘度 (動粘性率)：	情報なし	
爆発性：	情報なし	
粉じん爆発クラス：	非該当	
酸化性：	情報なし	
その他の情報	表示値は必ずしも製品規格に合致しない。個別のデータについては、技術情報シートを参照すること。	

安全データシート (SDS)

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性	情報なし
化学的安定性	情報なし
危険有害反応性の可能性	アミンとアルコールに対し発熱反応がある。水と反応してCO ₂ を生成する。密閉した容器では圧力が上昇し、破裂する危険がある。
避けるべき条件・混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	正しい取扱いと貯蔵をすれば、危険有害な分解生成物は発生しない。

11. 有害性情報

製品としての有害性データはありません。

成分(有害成分)について、弊社に知見がある有害性データは以下のとおりです。

急性毒性 (経口)	ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー LD50 ラット, オス / メス: > 2,000 mg/kg 方法: 指令84/449/EEC, B.1 類似製品の毒性試験
急性毒性 (経皮)	ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー LD50 ウサギ, オス / メス: > 9,400 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 402 同等(類似)製品を用いた試験
急性毒性 (吸入)	ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー LC50 ラット, 雄: 0.368 mg/l, 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト 方法: OECD 試験ガイドライン 403 動物実験を行うために作り出された試験環境と、実際の労働現場における作業環境、市場に提供される製品の形態や想定される製品の使用状況は同じではない。このため、動物実験の結果をそのまま作業時のリスクアセスメントに適用することはできない。以上より、専門家による判断と科学的根拠の重要度 (weight of evidence) に基づき、急性吸入毒性についての修正分類の使用が妥当であると判断される。 LC50 ラット, オス / メス: > 2.24 mg/l, 1 h 試験環境: 粉じん/ミスト 方法: OECD 試験ガイドライン 403 動物実験を行うために作り出された試験環境と、実際の労働現場における作業環境、市場に提供される製品の形態や想定される製品の使用状況は同じではない。このため、動物実験の結果をそのまま作業時のリスクアセスメントに適用することはできない。以上より、専門家による判断と科学的根拠の重要度 (weight of evidence) に基づき、急性吸入毒性についての修正分類の使用が妥当であると判断される。 評価: 吸入すると有害。 急性推定毒性変換値 1.5 mg/l 試験環境: 粉じん/ミスト 方法: 専門家の判断
皮膚腐食性/刺激性	ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 種: ウサギ 結果: 刺激性あり 分類: 皮膚刺激。 方法: OECD 試験ガイドライン 404 類似製品の毒性試験。
粘膜刺激性	ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 種: ウサギ 結果: 刺激性なし 方法: OECD 試験ガイドライン 405 類似製品の毒性試験。

安全データシート (SDS)

感作性	<p>ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー ビューラー法（上皮実験）による皮膚感作 種: モルモット 結果: 陰性 分類: 皮膚感作性なし 方法: OECD 試験ガイドライン 406 皮膚感作(局所リンパ節試験(LLNA)): 種: マウス 結果: 陽性 分類: 皮膚接触により感作を引き起こすおそれがある。 方法: OECD 試験ガイドライン 429 呼吸器感作 種: モルモット 結果: 陽性 分類: 吸入による感作発生の可能性。</p>
亜急性、亜慢性および長期毒性	<p>ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー NOAEL: 0,2 mg/m³ LOAEL: 1 mg/m³ 投与経路: 吸入 種: ラット, オス / メス 投与水準: 0 - 0, 2 - 1 - 6 mg/m³ 暴露時間: 2 a 処理の頻度: 1 日 6 時間、1 週 5 日 ターゲット器官: 肺, 鼻腔内壁 被験物質: エアロゾル 方法: OECD Test Guideline 453 結果: 鼻窩や肺への刺激。 同等(類似)製品を用いた試験</p>
発がん性	<p>ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 種: ラット, オス / メス 投与経路: 吸入 投与水準: 0 - 0, 2 - 1 - 6 mg/m³ 被験物質: エアロゾル 暴露時間: 2 a 処理の頻度: 1日6時間 1週間 5日 方法: OECD Test Guideline 453 高投与グループにおいて腫瘍の発生がみられます。 同等(類似)製品を用いた試験</p>
生殖毒性/生殖能力	<p>ジフェニルメタンジイソシアネート、異性 体及びホモポリマー 情報なし。</p>
生殖毒性 / 発達毒性/催奇性	<p>ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー NOAEL(無毒性量) (催奇形性): 12 mg/m³ NOAEL(無毒性量) (母体): 4 mg/m³ NOAEL (発達毒性): 4 mg/m³ 種: ラット, 雌 投与経路: 吸入 投与水準: 0 - 1 - 4 - 12 mg/m³ 処理の頻度: 6時間/日 (暴露時間:10日(交配後1日 6 - 15)) 試験期間: 20 d 被験物質: エアロゾル 方法: OECD 試験ガイドライン 414 NOAEL (発達毒性): 4 mg/m³ 動物実験では、催奇性なし。 同等(類似)製品を用いた試験</p>

安全データシート (SDS)

遺伝毒性 (in vitro)	ジフェニリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 試験の種類: サルモネラ/マイクロゾームテスト (エームテスト) 試験系: Salmonella typhimurium 代謝活性化: あり/なし 結果: 陰性 方法: OECD 試験ガイドライン 471 類似製品の毒性試験.
遺伝毒性 (in vivo)	ジフェニリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 試験の種類: 小核試験 種: ラット, 雄 投与経路: 吸入暴露 (暴露時間: 3 x 1時間/日を3週間) 結果: 陰性 方法: OECD 試験ガイドライン 474
特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	ジフェニリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 暴露経路: 吸入 ターゲット器官: 気道 呼吸器への刺激のおそれ。
特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)	ジフェニリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 暴露経路: 吸入 ターゲット器官: 気道 長期にわたる, 又は反復暴露による臓器の障害のおそれ。
誤えん有害性	ジフェニリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 入手可能なデータによれば、分類できない。
CMR 評価	ジフェニリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 発がん性: 吸入により発癌する疑いあり(Carc. 2)。 変異原性: in vivo試験およびin vitro試験において、変異原性影は確認されなかった。入手可能なデータによれば、分類できない。 催奇形性: 動物実験では、催奇性なし。入手可能なデータによれば、分類できない。 生殖毒性/生殖可能性: 入手可能なデータによれば、分類できない。
毒性アセスメント	ジフェニリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 急性影響: 吸入すると有害。本製品は、眼、皮膚、粘膜への刺激性がある。 感作: 吸入および皮膚接触により感作を引き起こすおそれがある。
追加情報	ジフェニリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー 特性/特別な作用: 製品に過剰にばく露した場合、目、鼻、喉、気道に刺激を生じる事がある。時間が経過してから不快感や体調不良が現れたり、アレルギー症状 (呼吸困難、咳、喘息) を訴えることがある。アレルギー体質の人の場合は、職業ばく露限界値以下を含む低濃度のイソシアネートにばく露した場合でも、こうした症状を訴える可能性がある。長時間にわたり皮膚と接触した時には、皮膚が黒ずんだりヒリヒリする可能性がある。

安全データシート (SDS)

12. 環境影響情報

製品としての水生環境有害性データはない。

水路、排水溝あるいは土壤に流出させない。

成分(有害成分)について、弊社に知見がある水生環境有害性データを以下に示す。

水生環境有害性

急性毒性 (魚類) : ジフェリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
LC50 > 1,000 mg/l
試験の種類: 急性毒性 (魚類)
種: *Danio rerio* (ゼブラフィッシュ)
暴露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203
同等(類似)製品を用いた試験

急性毒性 (ミジンコ属) : ジフェリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
EC50 > 1,000 mg/l
種: *Daphnia magna* (オオミジンコ)
暴露時間: 24 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202
同等(類似)製品を用いた試験

慢性毒性 (ミジンコ属) : ジフェリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
最大無影響濃度 (生殖) > 10 mg/l
種: *Daphnia magna* (オオミジンコ)
暴露時間: 21 d
方法: OECD 試験ガイドライン 202
同等(類似)製品を用いた試験

急性毒性 (藻類) : ジフェリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
ErC50 > 1,640 mg/l
試験の種類: 成長抑制
種: *scenedesmus subspicatus*
暴露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
同等(類似)製品を用いた試験

急性毒性 (細菌) : ジフェリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
EC50 > 100 mg/l
試験の種類: 呼吸抑制
種: 活性汚泥
暴露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 209
同等(類似)製品を用いた試験

土中生物に対する毒性 : ジフェリメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
無影響濃度 (死亡率) > 1,000 mg/kg
種: *Eisenia fetida* (ミミズ)
暴露時間: 14 d
方法: OECD 試験ガイドライン 207
同等(類似)製品を用いた試験

安全データシート (SDS)

陸生植物に対する毒性：ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
 最大無影響濃度 (幼植物出芽) > 1,000 mg/kg
 種: Avena sativa (燕麦)
 暴露時間: 14 d
 方法: OECD 試験ガイドライン 208
 同等(類似)製品を用いた試験

最大無影響濃度 (成長速度) > 1,000 mg/kg
 種: Avena sativa (燕麦)
 暴露時間: 14 d
 方法: OECD 試験ガイドライン 208
 同等(類似)製品を用いた試験

最大無影響濃度 (幼植物出芽) > 1,000 mg/kg
 種: Lactuca sativa (レタス)
 暴露時間: 14 d
 方法: OECD 試験ガイドライン 208
 同等(類似)製品を用いた試験

最大無影響濃度 (成長速度) > 1,000 mg/kg
 種: Lactuca sativa (レタス)
 暴露時間: 14 d
 方法: OECD 試験ガイドライン 208
 同等(類似)製品を用いた試験

環境毒性評価：ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
 水生環境有害性 短期 (急性)：入手可能なデータによれば、分類基準を満たしていない。
 水生環境有害性 長期 (慢性)：入手可能なデータによれば、分類基準を満たしていない。
 土壌についての毒性データ：土壌に吸着するとは考えられていない。本物質は土壌生物への危険性はないと評価されている。
 汚泥処理に対するインパクト：バクテリアへの毒性が低いので、微生物廃水処理プラントの性能に悪影響を与える危険はない。

残留性・分解性

生分解性：ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
 生分解：0%，28 d, 本質的生分解性ではない
 方法: OECD 試験ガイドライン 302 C
 同等(類似)製品を用いた試験

水中での安定性：ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
 試験の種類: 加水分解
 半減期: 20 h at 25°C
 本物質は水中で、急速に加水分解します。
 同等(類似)製品を用いた試験

光分解性：ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
 試験の種類: 空気中で光転移
 増感剤: OH-ラジカル
 濃度感作物質.: 500,000 1/cm³
 速度定数: 1.16E-11 cm³/s
 半減期 間接光分解: 0.92 d
 方法: SRC - AOP (計算)
 蒸発または空気への暴露後、本製品は穏やかに光化学過程により分解される。

揮発度 (ヘンリー則定数)：ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
 計算値 = 0.0229 Pa*m³/mol
 水相からわずかに揮発することから評価が必要になった。

生態蓄積性

生態蓄積性：ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
 生物濃縮係数 (BCF)：200
 種: Cyprinus carpio (コイ)
 暴露時間: 28 d
 含有量: 0.00008 mg/l
 被験物質: 14C-ラベル付
 方法: OECD 試験ガイドライン 305 E
 水生生物への蓄積はないと考えられている。

安全データシート (SDS)

土壤中の移動性

環境区分間の移動：ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
 吸着／土壌
 非該当

環境区分間の移動：ジフェニルメタンジイソシアネート、異性体及びホモポリマー
 データなし

PBTおよびPvB評価の結果

情報なし。

他の有害影響

イソシアネートは界面で水と反応してCO₂を発生させ、固くて不溶性の融点が高い物質（ポリ尿素）を生成します。この反応は、界面活性剤（例えば洗剤）、又は水溶性溶剤によって加速する。これまでの経験では、ポリ尿素は不活性の非分解性物質であることがわかっています。

13. 廃棄上の注意

適用を受ける国際法、国内法、地方自治体の条令等に従って処分する。

「廃棄物処理法」等に従って焼却処理を行うか、または許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処分する。

廃棄物処理法

製品を使い終わった後、容器に残滓を残さないようにする。（ドリップ、粉末、ペーストなどをすべて取り除く）。容器の壁面に付着している製品の残滓が無害となった容器は、その製品及び有害性表示ラベルは無効としなければならない。これらの容器は、適切な廃棄処理業者を通じてリサイクルすることができる。容器は国内法と環境規則に従ってリサイクルすることができる。排水溝に流す等、廃水として処理しないこと。

14. 輸送上の注意

・輸送前に容器の栓が確実に施工され漏れがないこと、及び、該当法規に定める所定の表示がされていることを

確認し、容器の損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

・共通事項として、「取扱い及び保管上の注意」の記載内容に準じて行う。

IATA

- 14.1 国連番号またはID番号： 非危険物
- 国連輸送名： 非危険物
- 輸送危険物クラス： 非危険物
- 容器等級： 非危険物
- 環境危険有害性： 非危険物

IMDG

- 14.1 国連番号またはID番号： 非危険物
- 国連輸送名： 非危険物
- 輸送危険物クラス： 非危険物
- 容器等級： 非危険物
- 海洋汚染物質： 非危険物

特別の安全対策

項目6～8を参照。

追加情報

危険貨物ではない。
 湿気を避けてください。
 +10℃以下の温度を避けてください。+50℃以上の温度を避けてください。
 食品から離して保管すること。アルカリから遠ざけてください。

14.7 IMO規則による

MARPOL/IBC PRODUCT NAME: Diphenylmethane diisocyanate POLLUTION

バルク海上輸送

CATEGORY:Y SHIP TYPE: 2

安全データシート (SDS)

15. 適用法令

化審法:	収載または適用除外 優先評価化学物質 α-(イソシアナトベンジル)-ω-(イソシアナトフェニル)ポリ [(イソシアナトフェニレン)メチレン] 含有量 [重量%]: > 50 - < 60 メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート 含有量 [重量%]: > 40 - < 50
消防法	第4類 第4石油類 III 火気厳禁
労働安全衛生法	危険物: 非該当 鉛中毒予防規則: 非該当 有機溶剤中毒予防規則: 非該当 特定化学物質等障害予防規則: 非該当 表示物質 (第57条) : メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート (別名MDI) 含有量 [重量%]: > 40 - < 50 通知物質 (第57条の2) : メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート (別名MDI) 含有量 [重量%]: > 40 - < 50 * 安衛法通知物質については、労働安全衛生法に基づき、作業場におけるそれぞれの化学物質についてのリスクアセスメントが義務付けられています。 変異原性物質 (厚生労働省基発) : 非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第一種指定化学物質 管理番号448 メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート 含有量 [重量%]: 42 第1種指定化学物質 管理番号585 α-(イソシアナトベンジル)-ω-(イソシアナトフェニル)ポリ [(イソシアナトフェニレン)メチレン] 含有量 [重量%]: 54
毒物及び劇物取締法	非該当
悪臭防止法	非該当
船舶安全法	IMDGコード (14項参照)
航空法	IATA (14項参照)
海洋汚染防止法	Y類物質

16. その他の情報

CLP分類 (1272/2008/CE) の項目 2、3、10 の危険有害性に関する声明の全文
H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。
H332 吸入すると有害。
H334 吸入するとアレルギー、ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
US国内配送用: § 172.101、付属書 A、DOT (米運輸省)に基づく: MDI 申告義務数量 (RQ):5000ポンド (2270 kg)。
TDIおよびMDIの安全な積み降ろし、運搬、保管に関するISOPA指令。ISOPAホームページ: ebsite: www.isopa.orgをご覧ください。(Product Stewardship „Walk the Talk“).

成形直後のポリウレタン製品の安全取扱い注意事項:
本原料を使用した成形直後のポリウレタン製品の表面には、製造条件によって有害性のある微量の物質が含まれる可能性があります (出発物質および反応生成物、触媒、離型剤など)。微量であってもこれらの物質が皮膚と接触しないようにしてください。このため、成形直後の製品について脱型その他の処理を行う時は、JIS T 8116に適合する化学防護手袋等の保護手袋や保護衣を着用して、製品の表面が皮膚に直接触れないようにして下さい。手袋の他には、化学防護服が必要です。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものではありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

改訂履歴

2020年1月	初版
2024年1月	JIS Z 7253に準拠して、SDSに様式を変更、組成変更
2024年8月	JIS Z 7253に準拠して、SDSに様式を変更、組成変更